

八ヶ岳・赤岳(天狗尾根)

日程:2008年12月20~21日

メンバー:L菊地、白土、神戸(記)

12/20(土) 晴れ

赤岳・東稜の予定だったけれど、日曜の天候が良くなさそうなので、天狗尾根に転進することに。八ヶ岳のルートは阿弥陀の北稜とジョウゴ沢にしか行ったことがなく、どうしようか迷ったが、合宿の前のトレーニングと思い行くことにした。前夜は清里の駅で仮眠して、夜明け前に美しの森の駐車場を出発。他に車は数台しか止まっていない。林道を歩き始めてすぐの所から雪がついていた。1時間ほどすると空が白み始め、美しい朝焼けにしばらく目を奪われる。出発から約2時間で出合小屋に到着。外にはトイレもあり小屋の中をのぞくと快適そうな感じ。置いてあるノートを見てみると知りあいがある前の週に女性二人で天狗尾根に来たようで感心する。小屋から少し歩いたところから尾根に取り付くが、草つきの崩れやすそうな急斜面で早速私だけ、バイルを2本使って手こずりながら登る。雪が少ないため、しばらく藪こぎをしながら進む。昼前に1P目の岩場に着くが、2人組のパーティに先に行ってもらうが、結構、時間がかかっていて30分以上待たされた。最初の岩場のトラバース部分にはフィックスロープが残置してあり、その後ルンゼを直上する。菊地さんがリードして、私が次にユマールで登り最後が白土さん。すぐに次の岩峰が見え左から回り込むようになるが、そこで白土さんのアイゼンが壊れてしまい、針金で修理をする。風がとても強くて足場の悪い所は怖い。先行パーティは尾根に戻るために登る岩場で、アイゼンの修理前から全く動いていないので先に行かせてもらうが、私だけお助け紐出してもらって登る。大天狗手前の岩場でロープを出して、大天狗を右から回り込む所でもう一度ロープを出す。ここは岩場を通らず、

下から大きく巻けるらしいが、菊地さんは難しそうな岩場の方へ行ってしまった…。3m位の岩場を直上しトラバースする。残置とハーケンを1本打って中間を取る。岩ももろくて、私の技術で宿泊装備を背負っては、ユマールでもかなり怖く途中で動けなくなるが行くしかないで、なんとか菊地さんの所までたどり着く。結構、時間はかかってしまい、その後は難しい所はなく16時位に登山道に出られほっとする。キレット手前のコルにテントを張られた。2人組のパーティの姿が見えなくて皆で心配していた。

12/21(日) 曇りのち晴れ

晴れているけど雲が多く風が強い。稜線は結構雪が積もっていてラッセル。尾根を少しはずれるとラッセルも少し大変な位。尾根は狭くないので滑落の心配はそんなにないけれど、風はかなり強く前に進むのがかなり大変だった。ツルネ東稜の分岐から少し下ると風も収まり穏やかになる。途中の尾根の分岐で気をつけないと、一応、看板のようなものはあるけど間違えやすい。笹藪がちょっとすべりやすかった。2100m位でアイゼンはずす。11時ころ出合小屋に着くと、中にテントを張っている人たちがいた。小屋から駐車場までの林道は前日より長い道のりに感じる。駐車場に着くと2人組のパーティの姿もあった。近くの温泉に入って、そこで食事も済ませて帰宅。

行程

12/20(土)

5:14 美しの森駐車場 ~ 7:30 出合小屋 8:00 ~ 11:40 1P(2500m付近) 13:10 ~ 14:05 2P大天狗手前 14:40 ~ 14:50 3P大天狗 15:55 ~ 16:50 キレット手前のコル(幕場)

12/21(日)

8:00 キレット手前のコル(幕場) ~ 9:00 ツルネ東稜の分岐 ~ 11:10 出合小屋 11:40 ~ 14:00? 美しの森駐車場